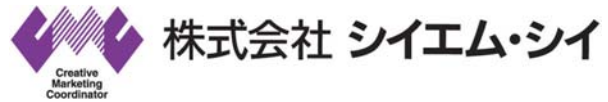


第51期 中間報告書

2011.10.1 - 2012.3.31

to The Next Stage >>>>>



本 社 〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号
TEL(052)322-3351〈代〉

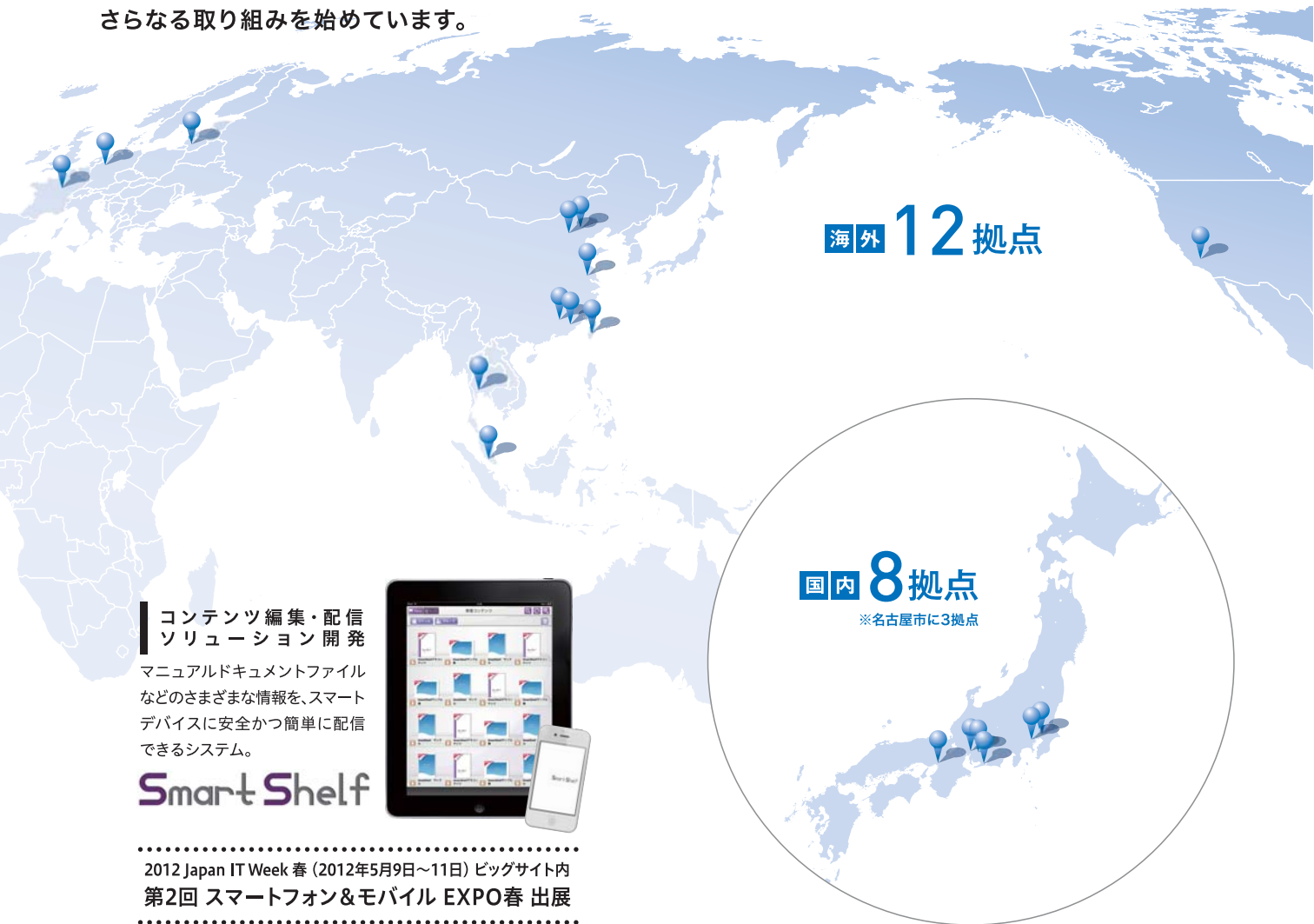
おかげさまで50周年
真のマーケティング・カンパニーとして社会に感動を提供する。

株式会社 シイエム・シイ

高まるICT[※]の力。グローバル対応企業へ。

※Information and Communication Technology

50年という歴史の中で培ったノウハウを活かし、
スマートデバイス対応のアプリ開発や、海外展開を含め、
現在そして未来に向けて
さらなる取り組みを始めています。



株主の皆様へ



代表取締役社長 佐々 幸恭

創立50周年、長年にわたるご支援、感謝申し上げます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社は平成24年5月25日に創立50周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援のおかげと深く感謝いたしております。これからも皆様とともに歩んでいきますよう、さらなる企業価値の向上のため、時代の流れに逆らわず、ICTを駆使した情報展開とグローバル化を一層推進していく所存ですので、ご期待・ご支援のほどお願い申し上げます。

さて、ここに当社グループ第51期第2四半期累計期間(2011年10月1日から2012年3月31日まで)の事業の概況についてご報告させていただきます。

丸星子会社化および得意分野好調により、増収・増益

当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,599百万円(前年同期間比1,781百万円増、同30.6%増)、営業利益は743百万円(前年同期間比512百万円増、同221.3%増)、経常利益は766百万円(前年同期間比511百万円増、同200.3%増)、四半期純利益は361百万円(前年同期間比255百万円増、同239.9%増)となりました。

上記の結果となった要因として、売上高につきましては、主力のマーケティング事業において、計画外物件や追加物件等の受注増加、および2011年1月に子会社化した

丸星株式会社の影響により、カスタマーサポート・マーケティングが大きく増加したこと、また、インターナル・マーケティング、エクスターナル・マーケティングの各分野における自動車の商品教育案件や商品訴求映像制作案件が増加したことが挙げられます。

一方、利益面につきましては、従来より得意分野であるカスタマーサポート・マーケティング、トータルプリンティングでの売上高の増加が大きかったことが、利益の絶対額を引き上げる要因となりました。

事業分類

■ マーケティング事業 株式会社シイエム・シイ、丸星株式会社、Maruboshi Europe B.V.

インターナル・マーケティング

お客さま企業の従業員を「売る気にさせる」
 スタッフのセールス・サービス業務の標準化や、
 商材教育・販売教育・技術教育等の企画・運営

エクスターナル・マーケティング

**お客さま企業の商材を魅力的に訴求し、
 消費者を「買う気にさせる」**
 販売促進や広告宣伝、広報等の企画・運営

カスタマーサポート・マーケティング

**お客さま企業の商材を購入いただいた方に
 「満足していただく」**
 使用説明書や修理書等、技術情報の企画・制作・編集および翻訳

トータルプリンティング

**お客さま企業の商材に関するマニュアルに特化した
 「印刷サービスを提供する」**
 使用説明書や修理書等の印刷・製本・加工

その他

コンビニエンスストア店舗経営等

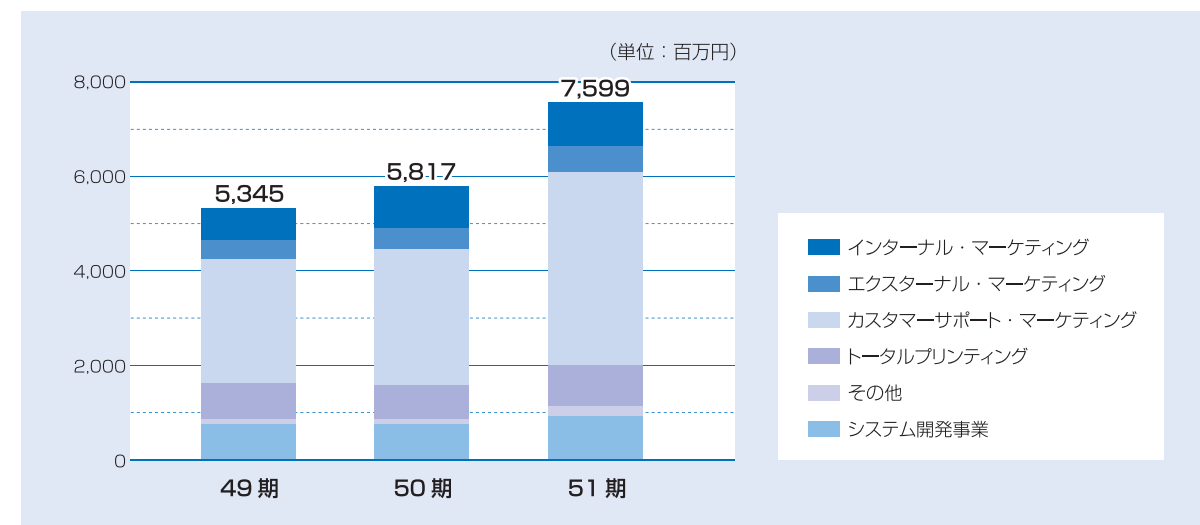
■ システム開発事業 株式会社CMC Solutions

お客さま企業のICTに関する課題解決を「トータルで支援する」
 システムに関するコンサルテーション・構築・運用サポート

■ 第2四半期連結累計期間 事業分類別売上高推移

(単位：百万円)

| | 49期 | | 50期 | | 51期 | |
|-------------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| インターナル・マーケティング | 669 | 12.5% | 905 | 15.6% | 949 | 12.5% |
| エクスターナル・マーケティング | 420 | 7.9% | 440 | 7.6% | 539 | 7.1% |
| カスタマーサポート・マーケティング | 2,635 | 49.3% | 2,896 | 49.8% | 4,114 | 54.1% |
| トータルプリンティング | 761 | 14.3% | 713 | 12.3% | 855 | 11.3% |
| その他 | 99 | 1.9% | 96 | 1.7% | 223 | 2.9% |
| システム開発事業 | 758 | 14.2% | 763 | 13.1% | 916 | 12.1% |
| 合計 | 5,345 | 100.0% | 5,817 | 100.0% | 7,599 | 100.0% |



業績の状況

■ マーケティング事業

売上高 6,682百万円 営業利益 821百万円

インターナル・マーケティングは、前年同期間において売上の大きかった業務効率化支援システム関連業務での減少があったものの、国内外の自動車分野における商品教育案件での増加、さらには丸星株式会社の自動車業界向け教育案件の純増があり、売上高は949百万円(前年同期間比44百万円増、同5.0%増)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、精密機器関連分野における販売促進案件での減少が見られたものの、自動車の商品訴求映像制作案件や試乗会開催案件の増加が見られ、売上高は539百万円(前年同期間比98百万円増、同22.5%増)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、丸星株式会社の子会社化が寄与したこともあり、自動車向けの使用説明書、修理書などの企画・編集・制作業務の増加が大きく、売上高は4,114百万円(前年同期間比1,217百万円増、同42.0%増)となりました。

トータルプリンティングは、自動車関連分野における使用説明書および修理書・解説書の印刷の増加があり、売上高は855百万円(前年同期間比141百万円増、同19.8%増)となりました。

その他については、コンビニエンスストア売上に加え、丸星株式会社の業務委託等の売上があり、売上高は223百万円(前年同期間比126百万円増、同130.8%増)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は6,682百万円(前年同期間比1,629百万円増、同32.2%増)、営業利益は821百万円(前年同期間比589百万円増、同253.5%増)となりました。

■ システム開発事業

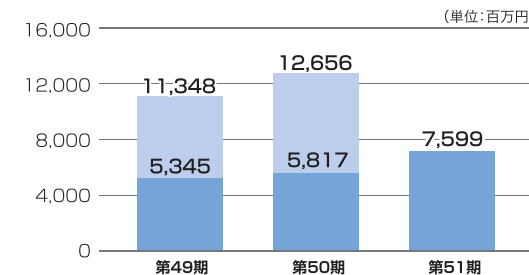
売上高 916百万円 営業利益 10百万円

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要なお取引先からの受注案件の増加にともない、売上高は916百万円(前年同期間比152百万円増、同19.9%増)となりました。営業利益は10百万円(前年同期間比22百万円減、同68.6%減)となりました。

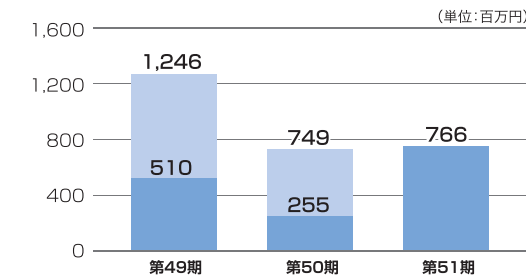
財務ハイライト (連結)

■ 中間期 ■ 通期

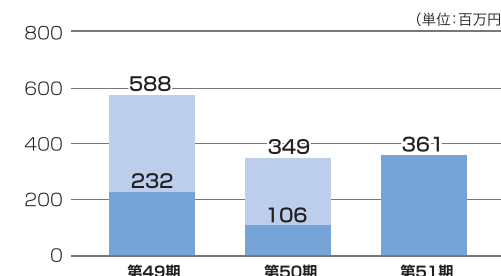
■ 売上高



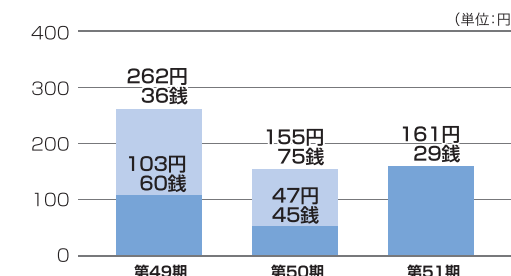
■ 経常利益



■ 四半期純利益



■ 1株当たり四半期純利益



Point

売上高については、2011年1月に子会社化した丸星株式会社の寄与もあり、従来より得意分野であるカスタマーサポート分野、トータルプリンティング分野が大きく伸びました。また、同事業分野の売上高増加にともない、利益の総額が引き上げられたことが、利益面での改善につながったと考えられます。

■ 1株当たり配当金

| 実績 | | | | 予定 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 |
| 20円 | 40円 | 60円 | 60円 | 70円 |

2012年9月期では、普通配当60円に加え、記念配当10円を予定しております。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

| 区 分 | 当第2四半期末 (2012年3月31日現在) | 前期末 (2011年9月30日現在) |
|----------------|---------------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 6,654 | 5,926 |
| 固定資産 | 5,161 | 5,068 |
| 有形固定資産 | 2,751 | 2,748 |
| 無形固定資産 | 1,357 | 1,286 |
| 投資その他の資産 | 1,051 | 1,033 |
| 資産合計 | 11,816 | 10,995 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 2,531 | 1,961 |
| 固定負債 | 915 | 855 |
| 負債合計 | 3,447 | 2,816 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 8,369 | 8,142 |
| 資本金 | 529 | 529 |
| 資本剰余金 | 443 | 443 |
| 利益剰余金 | 7,396 | 7,169 |
| 自己株式 | ▲0 | ▲0 |
| その他の包括利益累計額 | ▲0 | 35 |
| 純資産合計 | 8,368 | 8,178 |
| 負債純資産合計 | 11,816 | 10,995 |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

| 区 分 | 当第2四半期 2011年10月1日から2012年3月31日まで | 前第2四半期 2010年10月1日から2011年3月31日まで |
|---------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 売上高 | 7,599 | 5,817 |
| 売上原価 | 5,264 | 4,324 |
| 売上総利益 | 2,334 | 1,492 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,590 | 1,260 |
| 営業利益 | 743 | 231 |
| 営業外収益 | 25 | 29 |
| 営業外費用 | 1 | 5 |
| 経常利益 | 766 | 255 |
| 特別利益 | 1 | 3 |
| 特別損失 | 7 | 9 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 760 | 248 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 375 | 133 |
| 法人税等調整額 | 23 | 9 |
| 法人税等合計 | 399 | 142 |
| 四半期純利益 | 361 | 106 |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

| 区 分 | 当第2四半期 2011年10月1日から2012年3月31日まで | 前第2四半期 2010年10月1日から2011年3月31日まで |
|---------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 794 | 216 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲283 | ▲1,353 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲136 | ▲893 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | ▲24 | 2 |
| 現金及び現金同等物の増減額（▲は減少） | 350 | ▲2,027 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,162 | 3,750 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,512 | 1,723 |

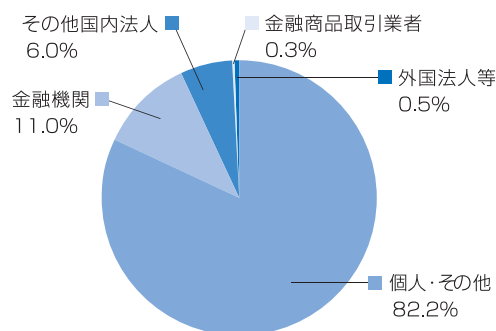
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

企業情報・株主メモ

株式の状況

| | |
|----------------------------|------------|
| 発行可能株式総数 | 7,970,000株 |
| 発行済株式の総数 (自己株式数278株を除く) | 2,243,322株 |
| 株主数 | 835名 |

株式の分布状況



大株主

| | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|-----------------|---------|---------|
| 佐々 香予子 | 468,600 | 20.9 |
| シイエム・シイ従業員持株会 | 301,080 | 13.4 |
| 林 幹治 | 287,110 | 12.8 |
| 林 史子 | 110,000 | 4.9 |
| トヨタ自動車株式会社 | 100,000 | 4.5 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 60,000 | 2.7 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 48,000 | 2.1 |
| 株式会社三井住友銀行 | 40,000 | 1.8 |
| 鷺尾 美里 | 36,600 | 1.6 |
| 龍山 真澄 | 31,900 | 1.4 |

会社概要 (2012年3月31日現在)

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 商号 | 株式会社シイエム・シイ |
| 英訳名 | CMC CORPORATION |
| 本社所在地 | 〒460-0021 名古屋市中区平和一丁目1番19号 |
| | TEL(052)322-3351 FAX(052)322-9548 |
| 設立 | 1962年5月 |
| 資本金 | 5億2,977万円 |
| 従業員 | 連結744名 単体437名 |
| 上場市場 | 大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード) |

役員

| | |
|-------------|--------|
| 取締役会長 | 林 幹治 |
| 代表取締役社長 | 佐々 幸恭 |
| 代表執行役員 | |
| 取締役執行役員副社長 | 関 誠 |
| 取締役常務執行役員 | 小林 淑記 |
| 取締役執行役員 | 成田 克己 |
| 取締役(非常勤) | 龍山 真澄 |
| 常勤監査役 | 小泉 増明 |
| 監査役(社外、非常勤) | 深見 裕康 |
| 監査役(社外、非常勤) | 後藤 武夫 |
| 常務執行役員 | 棚橋 幸太郎 |
| 常務執行役員 | 田島 龍司 |
| 常務執行役員 | 近藤 幸康 |
| 常務執行役員 | 窪田 宏 |
| 執行役員 | 辻本 仁 |
| 執行役員 | 奥田 憲二 |

連結対象子会社

| |
|-------------------------------------|
| 株式会社CMC Solutions(名古屋市中区) |
| 丸星株式会社(横浜市西区) |
| Maruboshi Europe B.V.(オランダ アムステルダム) |

拠点所在地

[海外(12拠点)]
シンガポール、アメリカ合衆国(ロサンゼルス)、
中華人民共和国(広州2拠点、北京2拠点、上海)、オランダ(アムステルダム)、
フランス(ベルサイユ)、ポーランド(ワルシャワ)、タイ(バンコク)、台湾(台中)

[国内(8拠点)]
名古屋市中区2拠点・中川区、愛知県日進市・豊橋市、東京都中央区、
大阪市西区、横浜市西区

株主メモ

| | |
|---------|--|
| 証券コード | 2185 |
| 事業年度 | 毎年10月1日から翌年9月30日まで |
| 定時株主総会 | 毎年12月 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当: 毎年9月30日 中間配当: 毎年3月31日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。 |
| 公告方法 | 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 http://www.cmc.co.jp/ |

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。